

つながい

怒濤の1週間が過ぎました。級友の顔と名前、担任の先生は覚えましたか？

菊陽町立菊陽中学校

進路だより NO. 2

令和7年4月17日（木）

文責：片山慎二

進路指導主事から3つのお願ひ

3年生全213名の進路に関する仕事は、膨大です。責任も重大です。そこで、3つのことを皆さんにお願いしますので、しっかり意識してください。

1 勉強をしよう！

みなさんは「将来、～～になりたい」などの「夢」がありますか？本校の教育目標に

「己を觀つめ ともに 夢を拓く」とあります。

その「夢」を拓くために、中学校卒業後に、高校へ進学する人も多いと思います。高校へ入学するには「受験」は避けて通れません。ですから、「高校へ行きたいから勉強する」と多くの人が思っていると思います。

ですが、よく言われるこの言葉、実は逆であり、正しくは



「勉強をしたいから高校へ行く」が本当です。

高校などの上級学校は義務教育ではありません。強い意志と決意がなければ3年間は耐えられません。授業内容は中学校より高度で、専門性もあります。そういうことを前提とした上で受験に臨むのです。

「ともに夢を拓く」ために先生たちも頑張ります！！

2 期限を守ろう！

この1年、進路関係のたくさんの配布物があり、そのほとんどは学校に提出してもらいます。一人でも提出が遅れると仕事がストップし、多くの人に影響を与えることになります。期限を確かめ、余裕を持って提出することを心がけてください。

今までの宿題提出で、遅れがちだった人は特に要注意です。そして、提出する際は必ず見直しをしましょう。

「3分の見直しと2時間の取り扱い＆訂正、あなたはどっちを選ぶ？」



ここで質問！！

第1回進路希望調査提出締め切り日は何日ですか？

3 話し合って決めよう！

ひとりひとりの進路を決めるのは先生でもなければ、保護者の方でもない。最後に決めるのはあなた自身であるということを忘れてはいけません。

自分の人生は自分自身が決めるべきです。でも、「すべてをひとりで考えて決めなさい」というのは難しいでしょう。ですから、学年の先生方や保護者の方はみんなが進路を決めていく「お手伝い」をします。そのためには、先生や保護者の方々に、しっかり自分の考えを伝えたり、話し合ったりすることが必要です

しっかり悩んで、どんどん思いを伝えてください。そのために私たち大人がいます。悩むのは真剣に考えている証拠です。

「何を基準に高校を考えれば良いかわからない」という人こそ、早めに先生や保護者の方と話をしましょう。きっといいアドバイスをくださるはずです。「高校でなにをしたいか」や、「将来の夢」を考えると、話しやすいですね。高校の選び方の詳細は後日お知らせします。

